

平成21年度「情報通信月間」総務大臣表彰

1 個人:5件

(敬称略:五十音順)

氏名	功績の概要
かわと みつお 川人 光男(55歳) 株式会社国際電気通信基礎技術研究所 脳情報研究所 所長・ATRフェロー	ヒトの脳の微弱電流や血流の変化を計測することで、考えるだけでロボットを制御できるブレイン・マシン・インタフェースを世界で初めて開発し、情報通信端末への適用の可能性を探るなど、脳神経科学と情報通信技術を融合した近未来のコミュニケーションスタイルの確立に多大な貢献をした。
たなか よしあき 田中 良明(57歳) 早稲田大学大学院 国際情報通信研究科 教授	情報通信審議会の数々の委員会の専門委員として、携帯電話の導入に向けた検討会の主任を務めるなど、多年にわたり我が国の情報通信分野における標準化活動に貢献するとともに、国際標準化に関する教育にも尽力し、情報通信分野の人材育成に多大な貢献をした。
とうくら よういち 東倉 洋一(62歳) 国立情報学研究所 副所長	多年にわたり情報通信技術分野の競争的資金制度である「戦略的情報通信研究開発推進制度(SCOPE)」のプログラムディレクターとして、幅広い知見に基づく課題採択を通して、イノベーションの創出、地域社会の活性化、若手研究者の育成等を着実に進めるなど、当該制度の発展に多大な貢献をした。
ねぎし あきら 根岸 哲(66歳) 甲南大学法科大学院 教授	多年にわたり情報通信審議会委員、電気通信事業部会長などを歴任するほか、「携帯端末向けマルチメディア放送サービス等の在り方に関する懇談会」の座長として、移動受信用地上放送の早期実現を図るための電波法・放送法改正の指針となる提言の取りまとめに尽力するなど、情報通信の発展に多大な貢献をした。
よしだ あきとし 吉田 晃敏(57歳) 旭川医科大学 学長・遠隔医療センター長	医療分野において情報通信技術を活用した先進的な研究開発を数多く行うとともに、特に全国に先駆けて遠隔医療センターを開設し、国内47施設、海外4施設と医療機関連携を行うなど、遠隔医療の全国的な普及に尽力し、医療分野における情報通信技術の利活用の推進に多大な貢献をした。

2 団体:2件

団体名	功績の概要
ちじょう ほうそうふきゅうたいさくけんとうかい 地上デジタル放送普及対策検討会 (会長 はだ よしたか 羽田 能崇)	平成17年の発足以来、地方公共団体の立場から、円滑に地上デジタル放送への完全移行を達成するための普及促進方策の検討を精力的に行い、情報通信審議会情報通信政策部会「地上デジタル放送推進に関する検討委員会」に提案するなど、地上デジタル放送の普及促進に多大な貢献をした。
いっぱんしゃだんほうじん しんさ 一般社団法人 モバイルコンテンツ審査・ 運用監視機構 (代表理事 ほりべ まさお 堀部 政男)	モバイルコンテンツに係るコミュニティサイト運用管理体制認定基準を策定し、サイトの認定・監視を実施するとともに、啓発・教育などの活動を通じ、モバイルインターネットの利用環境において青少年の保護と健全な育成を実現するセーフティネットの整備の推進に多大な貢献をした。

